

海原会公式ホームページをご活用ください

海原会の活動状況のチェックや会員相互の情報交換など



ようこそ海原会へ

海原会ホームページにアクセスしていただきありがとうございます。

海原会は海城学園あつての「海原会」です。下記の趣旨にご賛同いただき、卒業された同窓会員の皆様とともに交流を深める場をご提供できれば幸いです。

会長 挨拶

『このホームページが強力な推進力となることを期待しています。』

同窓の皆さま、こんにちは。昭和34年卒業の徳光です。これから皆さま方のご協力をお願いして、同窓会会長のお役目を務めてまいります。

明治24年、1891年創立の母校海城学園の歴史は一世紀をはるかに越え、その30年後の大正10年に発足したわが海原会の年齢も、米寿に近づいています。創立以来の卒業生総数は3万5千名以上、海原会の現在会員数は約1万8千名のべりです。母校の現状は、まことに順調で、大学進学状況なども超一流の水準を確保し、学校教育界での存在感も抜群です。卒業生によって、母校の輝きはこれにまさる喜びはありません。先生方のご指導に深い感謝の意を捧げ、後輩諸君のご努力に敬意を表します。

海原会は、活動のより一層の活性化を図るため、本会のホームページを立ち上げましたところ、大変多くのご利用を頂いています。会の活動状況をお知り頂き、また会員相互の情報交換の場として、今後とも積極的なご活用をお願いいたします。

年に一度の「総会」の開催日は、毎年6月第一週の土曜日に固定しています。同期の方へも、若い年層の同窓のお知らせも借り、学校やPTAとも緊密に連携し、円満で、筋の通った運営を努めます。

どうか、なおい層のご指導・ご協力をお願い申し上げます。

海原会会長 徳光

海原会では会の活動の状況を会員の皆様にお知らせするとともに、会員相互の情報交換の場として活用していただくためのホームページを立ち上げています。すでに数多くの会員の皆様からのアクセスがありますが、今後はさらに広く皆様に気楽にホームページを様々な情報伝達、情報交換の場として活用していただければと考えております。まだ海原会ホームページをご覧になったことのない方々も、是非一度ホームページにアクセスしてみてください。

←【海原会トップページ】 ホームページをご覧になるには、YahooやGoogleなどで「海原会」と入力し「検索」で探していただくか、アドレスバーに <http://www.unabarakai.jp> と直接入力するとアクセスできます。

名前:

卒業年:

メールアドレス:

タイトル:

ファイルを送付 (ファイルを選択) ファイルが選...ていません

本文:

送信 リセット

↑【お問合せ】 住所変更などの連絡のほか、海原会に関するご意見や活動内容に関すること、その他問い合わせは、ここを利用してください。広場ページに直接アップしたくない情報やお知らせなどは、ここを通じて連絡くだされば適宜対応します。お気軽にご利用ください。

←【広場】 皆様の投稿の場です。クラス会や同期会、同窓会などの報告、クラブのOB会の集まり、有志によるゴルフコンペ、〇〇先生を囲む会など、様々な活動、近況などの投稿をお待ちしております。

名前:

卒業年:

メールアドレス:

写真 (ファイルを選択) ファイルが選...ていません

タイトル:

本文:

送信 リセット

注意

↑【投稿フォーム】 ページの最下部に投稿のフォーマットが用意されていますので、そこに直接原稿を打ち込んでいただければ、原則そのままアップされます。写真も3枚まで掲載できますので、データの添付をお願いいたします。

会費納入はお済みですか 海原会費は総会当日でも 受付けております

海原会は会員の会費と寄付で賄っております。お手元に同封されている振込用紙にて海原会費を振り込んで頂きますが、振込に手間の掛かる方は、総会当日でも総会参加費と今年度会費を受付けております。詳細は振込用紙の裏面をご覧ください。

返送が多くなっております 住所変更は速やかに

同窓会員の皆様、会報は同窓の情報誌です。現在、約1万8千人の全ての先輩後輩にお届けしております。しかし住所不明で1部戻ってきます。そこで消息を知っている方は、恐れ入りますが、ハガキ等又は海原会ホームページの「お問合せ」までお知らせください。

編集担当

小川晴望 (S26)
山本満男 (S27)
片山忠美 (S28)
石原長夫 (S33)
北村 隆 (S40)
小西洋也 (S41)

名簿業者にご注意！

名簿を作るので、住所等を教えるという電話や書葉による問い合わせがあるようです。海原会では、現在名簿は作成していません。販売等もしていません。そのような問い合わせや売り込みは、海原会とは関係の無い名簿業者と思われます。ご注意ください。

6月5日(土)は海原会総会の日です お誘い合わせてご参加ください

海原会の定例総会は毎年6月第1週の土曜日に母校本館講堂で開催されます。今年は6月5日です。本年度は海原会活動の活性化の一環として、新たに二つの企画を立ち上げるになりました。ひとつは特定卒業年度表彰制度で、卒業から20年、30年、40年、50年、60年…にあたるそれぞれの会員の方々をお祝いしようというものです。もうひとつは毎年秋におこなわれる学園最大のイベントである文化祭、「海城祭」に海原会として参加することです。このような機会に皆様お誘い合わせて学園に足を運んでいただけたらと思っております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



卒業から20年、30年…の方々をお祝いし 総会出席者には記念品を贈呈

学園を卒業してから何年になるだろう。そういえば卒業以来一度も学校を訪ねたことはないな——海原会ではそんな卒業生、会員の皆さんが母校を思い出し、気楽に母校に足を向けてくださる機会になればと、卒業から20年、30年、40年、50年、さらに60年経ったそれぞれの会員の方々を「祝賀」することになりました。6月5日(土)の海原会総会に出席いただいたそれぞれの対象卒業年の会員の方々には、母校にちなんだ記念品を贈呈いたします。

- 祝卒業60年以上(昭和25年以前卒)
- 祝卒業50年(昭和35年卒)
- 祝卒業40年(昭和45年卒)
- 祝卒業30年(昭和55年卒)
- 祝卒業20年(平成2年卒)

今年は以上の卒業年度の方々が祝賀表彰の対象者となります。該当年度卒業の皆様、連絡を取り合って総会にお越しください。

平成22年度 海原会総会・親睦会のご案内 平成22年6月5日(土) 午後2時 受付 午後3時 開会

- ◆第1部「総会」 1号館3階講堂
挨拶／海原会長、学園理事長、学校長
議事／平成21年度活動報告・収支決算報告
平成22年度活動計画・収支予算報告
その他
卒年対象者の表彰式
海城吹奏楽団演奏

- ◆第2部「親睦会」 食堂棟カフェテリア
参加費／3,000円 学生 1,000円
本年卒業新会員は無料です

同封の返信用ハガキに出・欠を書いて5月25日までに届くようお出しください。併せて欠席者は近況報告を付記願います。

海原会としての活動をより幅広く、活発に

同窓の皆様、昨年6月の総会で当海原会会長を仰せつかった徳光でございます。植木前会長には長年にわたり多大なお力添えを賜いました。特にホームページの開設、総会開催日の固定化など、献身的なお力を戴きここに改めてお礼申し上げます。

去る3月18日、海原会会長として母校海城高校の卒業式に出席し、380名の卒業生を前に祝辞を述べる機会を得ました。海原会入会資格を有した後輩たちは、容姿に聡明さを漂わせ、私たちの時代とはあまりにも品位の違いを覚えました。ただ、気がかりであったのは、卒業というより通過点のような受け止め方で、節目としての喜びがあまり感じられなかったことです。新たな出発点に立っているという活気が見られなかったことが杞憂であれはと思うのです。海城という学び舎に、より誇りを抱いてもらうためにも、海原会としての活動をより幅広く活発化していかなばと自らに問いかけた次第です。

さて海原会は本年90周年、一方母校は明治24年創立から数えて120周年の節目の年を迎えました。創立者古賀喜三郎氏の理想に燃えて立ち上がった「海城」という母校の息の長さ、力強さに今更ながら考えひとしおのものがあります。この間、諸先輩の各分野でのご活躍により、営々と築き上げてきた伝統をさらに強固にしてゆくのが我々現役会員の責務でありましょう。それにはまず学園サイドと当会の綿密な連携を強化してゆく事だと考えま

海原会会長 徳光和夫

- す。その意味で下記施策を従来どおり実施します。
- 学業、クラブ、生徒会の活動などで多大な成果を上げた3年生に、その卒業時に「海原会賞」を引き続き贈呈する。
 - 内外での評価の高い海城吹奏楽団へのサポートを行う。
 - 昨年用意した応援用小旗を活用して、野球部など各運動部へ積極的に応援参加する。
- さらに本年度の新たな活動として、会員の皆様に海原会活動への参加機会を広げるため、下記の催しを実施いたします。
- 卒業20年から10年ごとの対象年次の総会出席会員の方々に、記念品を贈呈することを制度化し、毎年実施する。
 - 学園の秋のビックイベント「海城祭」に海原会として参加する。
- 具体的には「海原会サロン」（仮称）を設け、会員の母校訪問の機会に資する。
- こうした諸活動をするにあたり、会員への情報伝達、会員相互の情報交換の場としてホームページや会報をさらに充実させていくことが不可欠であり、また皆様の積極的な活用をお願いします。さらに各年度の常任幹事の皆様の働きに期待するところ大であります。



親睦会、世代を越えて広がる語らいの輪

総会後の親睦会は同年代の仲間と集う場であるとともに、年代を超えた会員相互の交流を深める場でもあります。



今年の海原会賞は高山健太君に

平成21年度の「海原会賞」は地域のボランティア活動などで活躍した高山健太君に贈られました。

「海原会賞」は高校在学中の3年間にクラブ活動や社会活動など学業のみならず様々な分野で著しい成果や功績を上げた生徒を表彰する目的で設けられたものです。受賞者には賞状と記念品が贈呈されます。



〈表彰状〉

あなたは在学中に積極的にさいたま市高等学校生徒海外派遣事業に応募し、多くの候補者の中から派遣生の一人に選ばれ、アメリカ合衆国ペンシルベニア州ピッツバーグ市を訪問しました。レベルの高い派遣生たちの中でも臆することなくリーダーに立候補し、グループをまとめ異文化交流のイベント等を成功させました。こうした積極的な活動に対して卒業に当たり記念品を贈りその功績を表彰します。

平成22年3月18日 海原会会長 徳光和夫

海城祭に初参加！「海原会サロン」を設置

海城学園の最大行事である「海城祭」が毎年9月に2日間開催されます。今年は9月18日(土)、19日(日)です。来場者は例年2万人近くに及びます。

海原会は計画の一つとして、今年度より「海原会サロン」（仮称）を設置します。

海原会は海城あつての「海原会」です。卒業された同窓会員の皆様と共に交流を深める場として、総会参加はもとより、9月に行われる海城祭で「海原会サロン」と言った一区画を設け、同窓会員の母校訪問の機会に資したいと思ひます。

現在、海原会では「ワーキンググループ会議」の下でアイデアを出し合い、検討中です。また多くの会員の方々の提案参加も大歓迎です。

詳細は、次回の会報「海原」・ホームページでご案内します。



正門
海城祭アーチ



校庭で吹奏楽団
による演奏会



海城名物「先生の
ヤキそば屋さん」



新海城落語館での
海城版「笑点」
大喜利

我が学園生活 —忘れえぬ体験—

昭和23年卒 大貫金吾

戦中戦後の混乱期に在学した私たちは、戦後生まれのいまの後輩たちには想像もできないような学園生活を送ってきました。そのことは、今となっては私たち同期（海原二三四会）の仲間の絆を強める要素ともなっています。

太平洋戦争の真只中の昭和18年、旧制海城中学に入学した私たちは、19年には米軍の焼夷弾によるいわゆる焼け野原作戦に備えるためという軍部の命令で、特定地域の木造家屋の取り壊しの作業に勤労働員されました。これは火災の延焼を最小限にするために帯状の空き地をつくるというものでしたが、20年3月10日の東京大空襲の被害をみれば、このような家屋取り壊しはほとんど意味の無いものでした。空襲から数日後、友人と二人で御徒町から厩橋を渡り、押上付近まで罹災地の状況を見に出かけた時の光景も忘れられません。焼夷弾を受けた地域はほとんどが焼け野原になり、残っているものはコンクリートやレンガ造りの廃墟で、くすぶり続け、遺体があちこちに転がっていました。

また、こんな経験もしました。20、21年ごろ、食料事情の悪さから、現在は住宅団地が建っている戸山ヶ原練兵場跡地の一画を開墾し、サツマイモなどの栽培をしました。春には作付けから草取り、秋にはサツマイモの収穫、麦蒔きなどの農作業を授業の合間に行ないました。

また、空襲で焼けおちた講堂の復旧のための寄付金集めも忘れえぬ体験です。講堂の復旧工事は資金難のため中断し、募金活動で何とか再開するという状況でした。このため翌春卒業予定の5年生の保護者に追加の寄付依頼がきたのですが、5年生は生徒総会を開いて、学校と交渉して、冬休みを一週間早めてもらい、その間アルバイトで稼いで応じました。大学や高専の受験を間近に控えてのことでした。

